



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	消防活動の拠点の充実のため、老朽化の著しい消防庁舎を順次整備する必要がある。	● 高 ○ 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	老朽化した消防庁舎を整備することにより、地震災害等の災害対応が充実する。	● 高 ○ 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	老朽化した消防庁舎を整備することにより、地震災害等による庁舎への被害を防ぐ事が可能となる。	● 高 ○ 中 ○ 低
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	庁舎建設を整備するにあたり、将来性及び地域性を考慮する必要がある。	○ 高 ● 中 ○ 低	

#### 今後に向けた課題の分析

消防庁舎を整備するにあたり、効率性の観点から基本設計の段階で、職員などの意見を積極的に取り入れる必要がある。

### 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成17年度 決算額	平成18年度 決算額	平成19年度 決算額	平成20年度 予算額	平成21年度 計画額	平成22年度 計画額	平成23年度 計画額
事業内容				地質調査：大野・土沢など、解体：16分団	実施設計：大野、建設：土沢・16分団	建設：大野、解体：土沢、基本設計：神田		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	10,800	0	0	0
	起債	0	0	0	71,000	248,800	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	3,728	21,346	62,370	0	0
事業費 (A)		0	0	3,728	103,146	311,170	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	66.81				
内訳	職員 (人)	0.00	0.00	0.55	0.55	0.55	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	0	4,616	4,616	4,616	0	0
フルコスト (A+B)		0	0	8,344	107,762	315,786	0	0

### 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

#### 平成21年度の事業の方向性

● 現状の規模で継続 ○ 拡大して継続 ○ 縮小して継続 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 終了 ○ 他事業と統合

#### <判断理由>

老朽化した消防庁舎を建替えるため、継続し事業を進める。

#### 平成21年度 of 取組方針

大野出張所・消防訓練施設の建設、神田出張所の基本設計、土沢分遣所の解体をしていく。

#### 課長コメント

これからの消防に求められる消防力、組織体制などを考慮し、出張所等の消防庁舎を計画的に整備していく。